

筑波経済月報 No.151 2026.2

企業探訪

地域に貢献し街の未来をつくる総合建設業

横建工業株式会社

支店長のわがまち紹介

独自の歴史・文化をつなぐ 牛久ブランド

牛久市

研究員レポート

第89回「茨城県内企業経営動向調査」(2025年12月調査)

2025年冬季ボーナス支給に関するアンケート調査

筑波総研 株式会社





日本ワインの殿堂・牛久シャトー



(写真提供/牛久市)



本館と桜



神谷傳兵衛記念館



神谷傳兵衛記念館(1階)



レストラン

牛久シャトーの歴史

牛久シャトーは、実業家である神谷傳兵衛が、1897(明治30)年に茨城県稲敷郡岡田村(現:牛久市)に、葡萄栽培の適地を見出し、神谷葡萄園を開いたことがはじまりです。その後、1903(明治36)年に日本初の本格的なワイン醸造場として建設したのが、現在の牛久シャトーです。フランスに現存した醸造場をモデルに、ボルドー地方の技術を用いて、葡萄の栽培からワインの醸造・瓶詰を一貫して行っていました。

当時の建物は事務室(現:本館)、醗酵室(現:神谷傳兵衛記念館)、貯蔵庫(現:レストラン)が現存しており、明治中期の煉瓦造建築として歴史的価値の高さと、当時の醸造方式を理解するうえで産業技術史における価値が高いという2点が評価され、2008(平成20)年6月に国の重要文化財に指定されました。その他、2007(平成19)年11月には「近代化産業遺産」に、2020(令和2)年6月には「日本遺産」に認定され、その歴史的価値の高さが広く認められています。

本館

事務室として使用されていた本館は、牛久シャトーの象徴ともいえる建物です。右手に時計塔を立ち上げるなど、左右非対称の構成をしています。2階には大広間があり、神谷傳兵衛は親交のあった政財界の要人を招き、宴遊会を開いていました。現在は非公開。

神谷傳兵衛記念館

醗酵室は地上2階地下1階の3階建てで、現在は神谷傳兵衛記念館として、無料で見学できる施設となっています。1階はワイン醸造に使用していた大樽がズラリと並んでいます。2階には神谷傳兵衛の足跡を明治時代からのワイン造りの資料や器具とともに紹介しています。地下にはセラーがあり、当時の空気を感じることができます。

レストラン

貯蔵庫の名残を思わせる縦長の建物は、現在レストランとして活用されています。レストランではワインと一緒にフランス料理をお楽しみいただけます。当時のおもむきのある空間でお食事を楽しまれてはいかがでしょうか。

場 所：茨城県牛久市中央三丁目20番地1

公式サイト：<https://ushiku-chateau.com/>

◆お問合せ

牛久シャトー株式会社 電話029-873-3151

【イベント紹介】

牛久シャトーでは2月下旬から3月上旬に「日本遺産フェスタ」、3月下旬からは「さくらまつり」を開催しています。今年も開催の予定ですので、皆様のお越しをお待ちしています。